

### 3 夏～秋の鉢植え

夏は、暑さに強い植物を1種類だけ植えるのもおすすめです。管理も楽になりますし、コンテナとの組み合わせを工夫すれば、シンプルでおしゃれな鉢植えになります。

近年夏と秋の境目があいまいで、いつまでも暑さが続くといった状況です。暑さに強い植物を、夏から秋（10月頃）まで長期間観賞しましょう。

#### ◆スーパートレニア カタリーナ

生育が早く、暑さにも強く、夏～秋まで咲き続ける植物です。地植えもおすすめです。生育旺盛なので、コンテナ栽培では切り戻しを繰り返した方がよいでしょう。水はたっぷり、肥料は置肥（月に1回程度）、液肥（1～2週間に1回程度、500～1000倍）を与えます。



ブルーリバー1株／鉢



伸びたら鉢の縁に沿って切り戻し



鉢の大きさ  
直径 25 cm×高さ 22 cm

さわやかな花色と白い鉢が涼しさを演出

#### ◆コリウス

葉を観賞する植物。葉色等のバリエーションは多彩。暑さに強く旺盛に生育します。茎が伸びすぎて草姿が崩れたら、ぱっさり切り戻しましょう。10月頃までは十分楽しめます。高温期は水やりをしっかりと、肥料は置肥（月に1回程度）を与えるとよいでしょう。



イエロージグザグ 1株／鉢



スリット鉢で育て、飾る時は大型の鉢にすっぽり入れました



鉢の大きさ  
直径 30 cm×高さ 24 cm

大型の鉢は直接土を入れず、鉢カバーとして使うのもおすすめ

#### ◆ベゴニア

初夏の花壇苗としてよく使用されるベゴニア。近年は乾燥に強い性質を活かして、秋花壇でも見かけます。秋は、黄色や橙色などのオータムカラーの植物を用いるのが定番ですが、意外とベゴニアの花色もマッチします。

鉢が乾いたら水やりをし、肥料は液肥（1～2週間に1回程度、500～1000倍）を与えます。茎が伸びすぎて草姿が乱れたり、葉が傷んできたら、切り戻しをしましょう。



鉢の大きさ  
直径 30 cm×高さ 18 cm

一般的な花壇苗以外に、花に特徴がある品種も販売されています。

写真はセミダブルの花弁を持つ、F1 フィオナ レッドとローズ。各2株計4株/鉢